

農薬について知ろう

その2



お米や野菜、くだものなどを育てるときに使った農薬が、食べ物に残り、食べた人の体に悪い影響えい きょうが出るのではないかと心配する人がいます。食べ物に残った農薬の安全は、どのように考えればよいでしょう。

農薬って、食べ物に残っているの？



農薬は雨で流されたり、日光で分解ぶんかいされたりして、あまり残っていないよ。

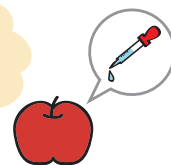


考えてみよう

りんご1個に残っている農薬の量は、どれくらいでしょうか？



スポイト1滴くらいかな？



答え

りんご1個に残っている農薬の量は、多いものでもスポイト1滴のさらに200分の1くらいの量でした。

厚生労働省「平成30年度 食品中の残留農薬等検査結果」で、りんご1kgに最もたくさん残っていた農薬（シベルメトリン）の量は0.00075gでした。300gのりんご1個には、0.000225gの農薬が残っている計算です。これは、スポイト1滴（0.05g）のおよそ200分の1の量です。

ここが大切！

食品中の農薬の安全を考えるときは、「残っているか・いないか」ではなく、「どのくらい残っているか（量）」を考えることが大切です。

農薬は「ここまでなら一生涯、毎日食べても大丈夫」という量を専門家が調べて、私たちがさまざまな食品を通じて摂る量がそれを超えないように、国によって使用方法などのルールが決められ、管理されています。

実際に食品に残っている農薬の量は「ここまでなら一生涯、毎日食べても大丈夫」という量よりはるかに少ない量です。

「量」が大切！



キッズボックス「農薬について知ろう」は計4回のシリーズ（令和3年7月、9月、令和4年2月、3月予定）でお届けします。



kg、gより少ない量を表す単位はどんなものがある？

調べてみよう

キッズボックス 検索

令和3年（2021年）9月 内閣府食品安全委員会

<http://www.fsc.go.jp/kids-box/>